



先輩に学ぼう！

毎年、5月末から6月上旬にかけて卒業生が教育実習生として本校に戻り教育実習を行っています。

そこで本年度教育実習に来られた7名の先生方に、

① 大学とはどのような場所ですか？高校時代のイメージとのギャップは？ ② 後輩たちに伝えたいこと

の2つの質問に答えてもらいました。

《大学とはどのような場所ですか？高校時代のイメージとのギャップは？》

- ・自分の学びを深めることができる場所です。やる気によって一回りも二回りも忙しくなる！
【小林 祐貴（英語）】
- ・自分で頑張らないといけない場所です。講義を休んだら自分で資料を取りに行かないといけない、寝ていても起こされないなど、高校のように面倒を見てもらえる場所ではないので自分で頑張らないと誰も助けてくれません！
【稲田 心雅（家庭）】
- ・人それぞれがやりたいこと、なりたい自分に向かって打ち込む場所だと思います。
【山下 皓平（公民）】
- ・自分の興味のある分野の専門性を高められる貴重な場所です。また、高校時代のイメージとのギャップは、以外と遊ぶ時間が無いことです。私は大学で取れる資格を全て取って卒業するので、その分単位数も多くなり、毎日6時まで授業があります。
【竹丸 沙織（家庭）】
- ・大学は自分の好きなことを深く勉強できる場所です。高校時代は「大学は、与えられたものの中でしか勉強できない」と思っていたが、比較的生徒目線で決めることができるので楽しく勉強できます。
【福丸 加倫（書道）】

《後輩たちに伝えたいこと》

- ・最後に大学受験という大きな壁がありますが、受験に失敗した私から言えることは、失敗しても学びたいこと、やりたいことが明確であれば第一志望の大学に入学できなくても、充実した大学生活をおくれると思います。前向きに！
【城戸 啓至（保健体育）】
- ・分からなくなったら、先生方をたくさん頼ることです。先生方の存在の大きさは、思っている以上です。また、自分でやるべきことは早めにやっておくことです。
【寺園 まほろ（保健体育）】
- ・頑張りは絶対に力になります。しかし、それが結果につながりにくいことも多いので、挫けずに努力を続けてください。楽しむことも必要です！
【小林 祐貴（英語）】
- ・勉強して悔い無し！当時は、勉強してもこの先絶対生きていく中で使わないと思っていた科目や、たくさんの宿題がありましたが、今思うと勉強自体だけで無く、その中で得た忍耐力や集中力が今とても役に立っています！
【稲田 心雅（家庭）】
- ・高校では勉強をすることももちろん大事ですが、何か1つ全力で打ち込めることがあると、後々自分への自信につながると思います。私は高校時代に書道部で頑張った経験が今の自分の自信になっています。みなさんも、部活や趣味など何でもいいので何かに全力で打ち込む経験をしておくといいと思います。
【竹丸 沙織（家庭）】
- ・限られる時間の中で、できることは少ないと思いますが、今自分が好きでやっていることは途中であきらめることなく楽しんでやり通してください。そうすれば自分自身にプラスとして何かが返ってくると思います。
【福丸 加倫（書道）】

紙面の都合上、すべてを紹介することはできませんが、先輩方一人ひとりが後輩であるみなさんを思っている温かい言葉です。先輩方からのこのメッセージをみんなで共有し、今後の学校生活へ活かしていきたいと思います。